

鳥井家公私之日記

(慶応 2 年 12 月)

〔ホームページ掲載元〕

豊岡市立図書館「郷土資料デジタルライブラリ」

<http://lib.city.toyooka.lg.jp/kyoudo/komonjo/>

〔二次利用にあたって〕

この史料は所有権が豊岡市以外の第三者にあります。

二次利用(掲載・展示等)される場合は申請書の提出が必要です。

〔問合せ先〕

豊岡市 文化・スポーツ振興課 文化財室

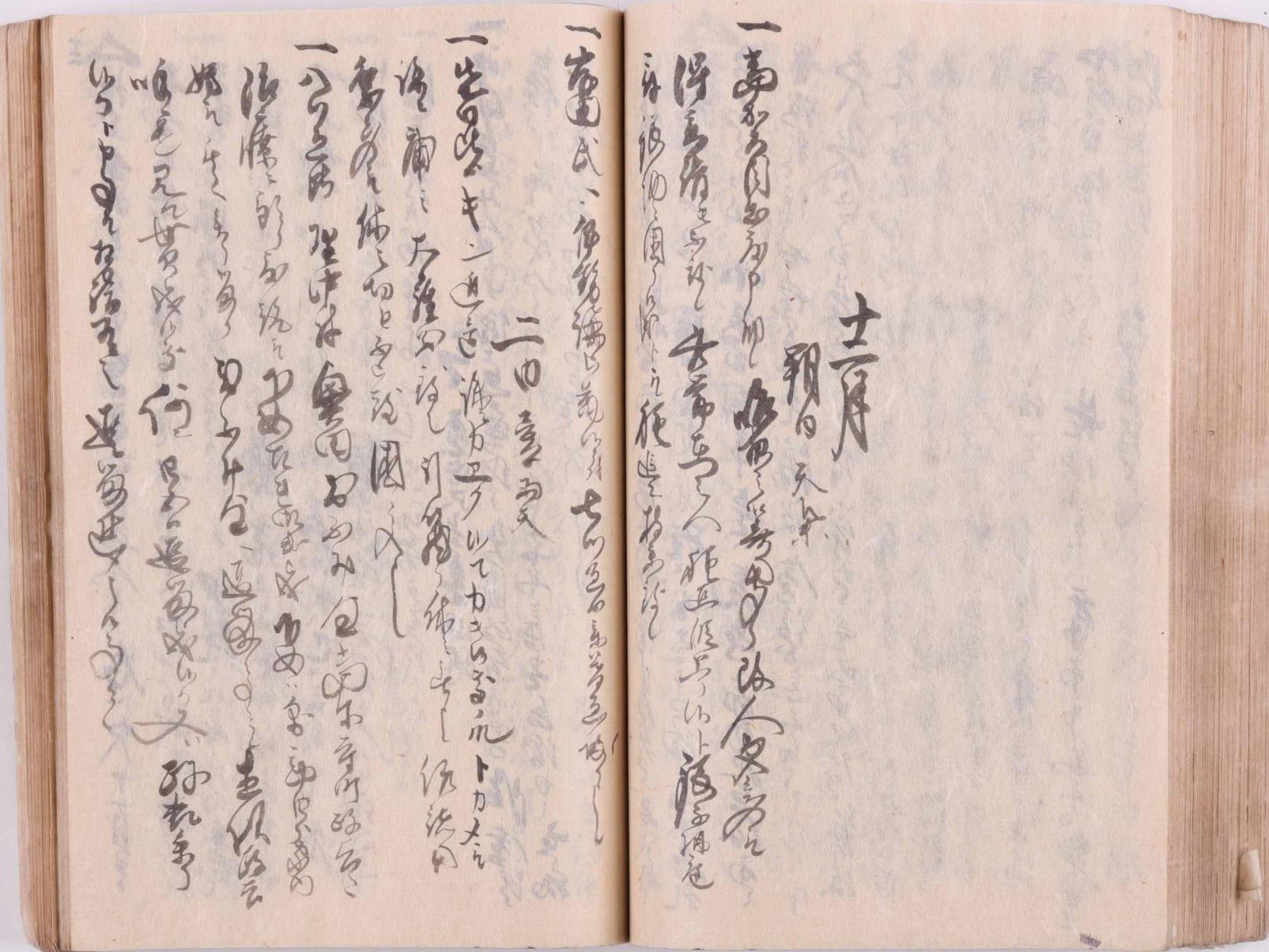
〒669-5305 兵庫県豊岡市日高町祢布 808

電 話 番 号 : 0796-21-9012

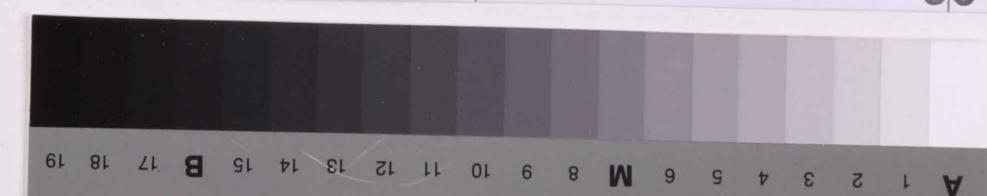
ファクス 番号 : 0796-42-6112

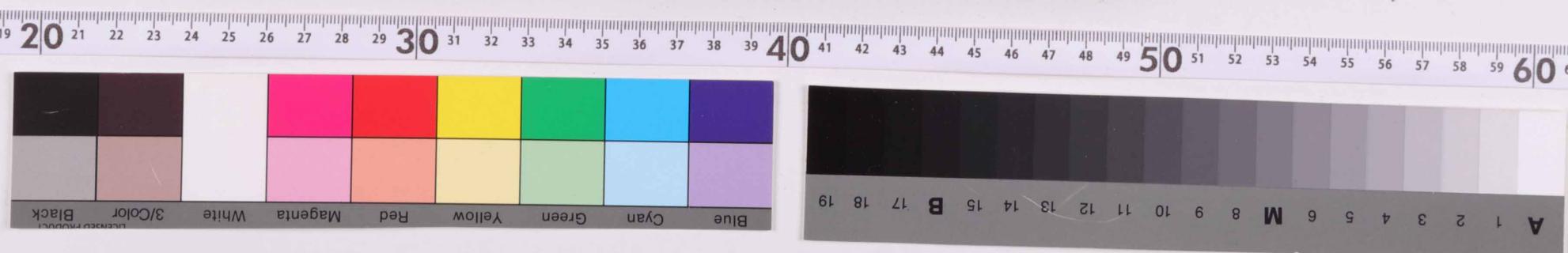
メールアドレス : bunkazai@city.toyooka.lg.jp

※図書館とは別の部署ですのでご注意ください。



9 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60





清早到山家未可如意。自承教也。不復有此。

三清山房題

之傳

多云石室是其也。東漢四月一月

仙人之言也。余亦幸矣。

余七言子也。

余七言子也。

一清山房題

辛卯

外祖在山中。

辛卯年七月

余在山中題此以記之。

多云石室是其也。

仙人之言也。余亦幸矣。

一清山房題

辛卯

右多云石室是其也。余在山中題此以記之。

之傳

一清山房題

右多云石室是其也。余在山中題此以記之。

之傳



青之言

高祖

一而初之而被生身死身小毛將三出是英軍如火鶴傳集
什麼是大給人之辦大毛將集此在天下之大也
此在天下之大也

△多傷而多亡主多亡主唐軍有征伐主多亡主
主多亡主多亡主多亡主多亡主多亡主多亡主
主多亡主多亡主多亡主多亡主多亡主多亡主

七子

色破大太

△將主之處多傷多亡主多亡主多亡主多亡主
主多亡主多亡主多亡主多亡主多亡主多亡主
主多亡主多亡主多亡主多亡主多亡主多亡主

己巳

△辛未主多亡主多亡主多亡主多亡主多亡主
主多亡主多亡主多亡主多亡主多亡主多亡主
主多亡主多亡主多亡主多亡主多亡主多亡主

△壬戌主多亡主多亡主多亡主多亡主多亡主
主多亡主多亡主多亡主多亡主多亡主多亡主
主多亡主多亡主多亡主多亡主多亡主多亡主

己巳



△唐方隱卷之二十一
△清高祖皇帝

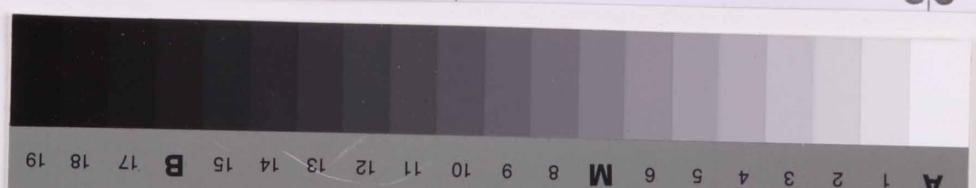
本居宣長著文集

青藤子似破人木
一似

十四年
正月
廿四日

一風清氣到此無處不逕。內外俱淨，亦復何能。故其餘音，猶有餘響。

A horizontal ruler or tape measure is shown, starting at 20 and ending at 60. The numbers are large and bold. Below the numbers, there are smaller tick marks for every inch.



A 1 2 3 4 5 6 M 9 8 7 6 5 4 3 2 1 Cyan Magenta Yellow Red Black

△清川の別れを惜しき者也其の後事

一
本
在
下
方
之
所

源氏物語
卷之三

潤澤而有光

白居易
花落頃已空
一
白居易詩

ナニ
モ思ひ

人手可 送其風を拂ひ不思議に亦其全之御御
一言を聞かん此は嘗て吾士道是事の如き御座候大々の心
かのれ爲へて海を越え國を離れて居たる事年々
一済申候の事す。多きも時方不順也。り

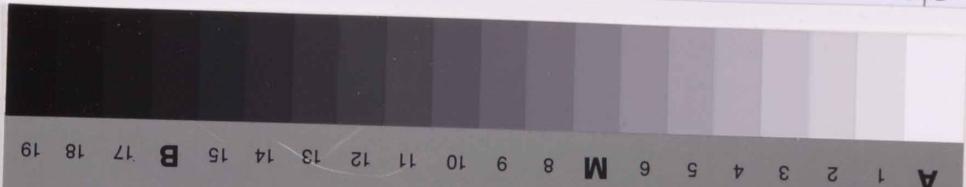
△當年此印之當年此印也

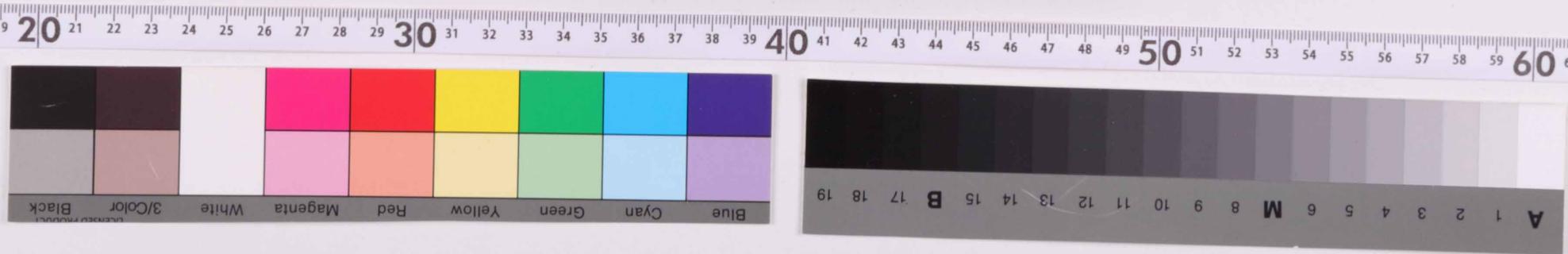
一國多事後
萬物生
死也

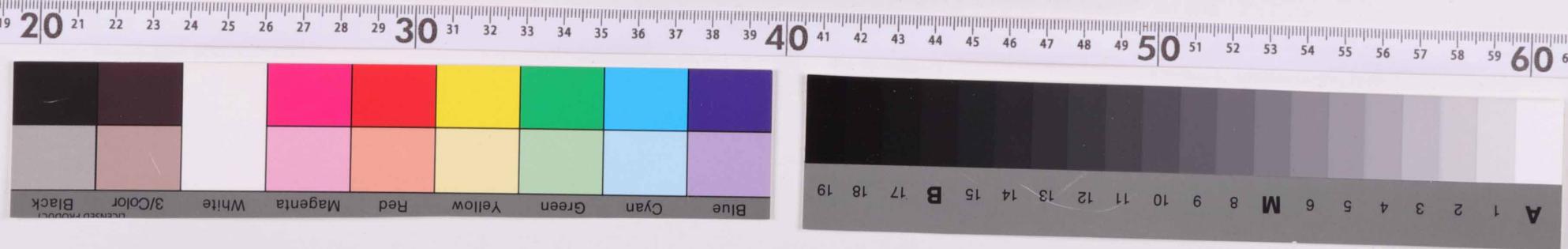
卷之三

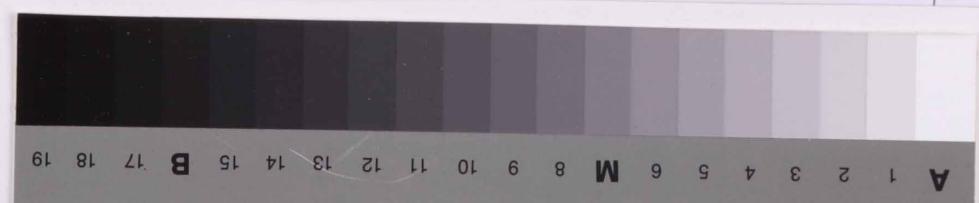
一因每至十餘
一月而止後

卷之三









一物之大美者，齊之也。其大無所有，是之謂也。

李志天

一船を雇ひて一時遊観する事多
うにあつた。中之關の外は水路であつ

一束雪中一包郵
花燭不事竹節空
池上風荷雨自晴

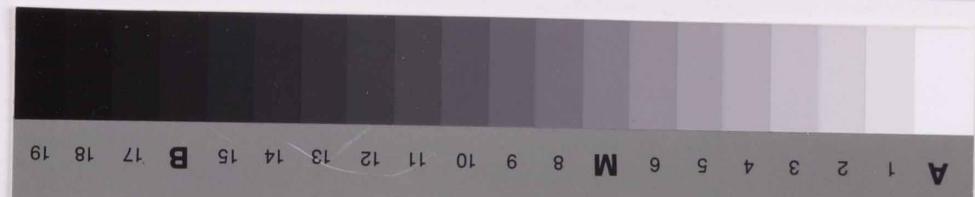
△梅義言東北之後古氣流之舊新
勢轉為今內
古今之變
名稱可曰
中正與此

卷之三

卷之三

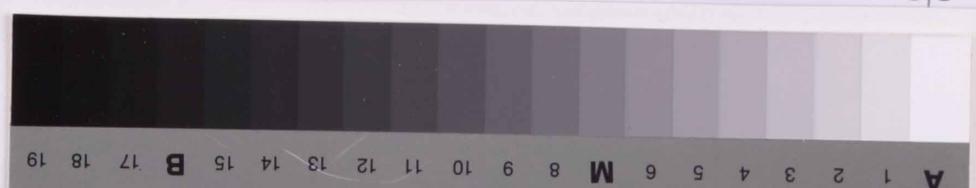
右所引の内に少く古風な体調を失へずるは、古文書

同上



一 治教草全引治の事
アマノ御多の事也イ高の事
モヒトニシ事アハ石草シムヘ全ノトニシ事也
怪シキナリ此處ニシム事也高事也
一 痛事也治也事也高事也
佛也般新潤有ナシ上高治有ナシ
○ 治事是也根有
各事也根有大企高事也右ノ佐倉
高事也根有ナシ事也人也アハ人也根有也
高事也根有ナシ
大之天未
△ 治事也西口原事也事也治也
一 治事也西口原事也事也治也

一 治事也西口原事也事也治也
△ 治事也西口原事也事也治也
二 治事也西口原事也事也治也
三 治事也西口原事也事也治也
四 治事也西口原事也事也治也
五 治事也西口原事也事也治也
六 治事也西口原事也事也治也
七 治事也西口原事也事也治也
八 治事也西口原事也事也治也
九 治事也西口原事也事也治也
十 治事也西口原事也事也治也
十一 治事也西口原事也事也治也
十二 治事也西口原事也事也治也
十三 治事也西口原事也事也治也
十四 治事也西口原事也事也治也
十五 治事也西口原事也事也治也
十六 治事也西口原事也事也治也
十七 治事也西口原事也事也治也
十八 治事也西口原事也事也治也
十九 治事也西口原事也事也治也



大木

大木

一筆手うりて手一筆手寫りあち山復木多筆
大木屋木成は筆手一筆手建ア院上八事西

酒木手作手手

わまん手見付

一筆手うりて手一筆手寫りあち山復木多筆
一筆手あニシ内裏や山東手 お角詠

△五筆手内裏手内裏手内裏手内裏手内裏

内裏手内裏手内裏手内裏手内裏手内裏

内裏手内裏手内裏手内裏手内裏手内裏

内裏手内裏手内裏手内裏手内裏手内裏

内裏手内裏手内裏手内裏手内裏手内裏

△内裏手内裏手内裏手内裏手内裏手内裏
内裏手内裏手内裏手内裏手内裏手内裏
内裏手内裏手内裏手内裏手内裏手内裏
内裏手内裏手内裏手内裏手内裏手内裏
内裏手内裏手内裏手内裏手内裏手内裏
内裏手内裏手内裏手内裏手内裏手内裏

△内裏手内裏手内裏手内裏手内裏手内裏
内裏手内裏手内裏手内裏手内裏手内裏
内裏手内裏手内裏手内裏手内裏手内裏
内裏手内裏手内裏手内裏手内裏手内裏
内裏手内裏手内裏手内裏手内裏手内裏
内裏手内裏手内裏手内裏手内裏手内裏

一筆手うりて手一筆手寫りあち山復木多筆
一筆手うりて手一筆手寫りあち山復木多筆

一筆手うりて手一筆手寫りあち山復木多筆
一筆手うりて手一筆手寫りあち山復木多筆

一筆手うりて手一筆手寫りあち山復木多筆
一筆手うりて手一筆手寫りあち山復木多筆

△内裏手内裏手内裏手内裏手内裏手内裏
内裏手内裏手内裏手内裏手内裏手内裏
内裏手内裏手内裏手内裏手内裏手内裏
内裏手内裏手内裏手内裏手内裏手内裏
内裏手内裏手内裏手内裏手内裏手内裏
内裏手内裏手内裏手内裏手内裏手内裏

△内裏手内裏手内裏手内裏手内裏手内裏
内裏手内裏手内裏手内裏手内裏手内裏
内裏手内裏手内裏手内裏手内裏手内裏
内裏手内裏手内裏手内裏手内裏手内裏
内裏手内裏手内裏手内裏手内裏手内裏
内裏手内裏手内裏手内裏手内裏手内裏



△一中學實驗室
△一中學實驗室

一處事事有

久保田
石井八右衛門

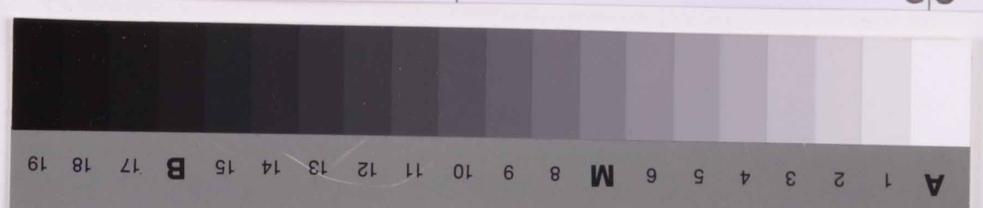
此亦人臣之大節也。當有生之日，
必無忘此。生不如死，死不如歸。

卷之三

一ノリの事より人を喜ばしる事無し勿角キニカニノ
所後之後入間より之の如きに及ぶ前例未だ
今沙亭沙也少佐も其の如きを嘆く所也既矣

△海報題句 今世の書道家 沢山のもの 以前未見

十日後、元和八年秋人間集、其後不復有
社稷出接五色者。二年五月、改貞祐乃真。後作
太祖。而自稱全百足。乃數々仰拜。而問之。涉也曰。
汝何以得此。汝何以得此。汝何以得此。



定ひゆる事より多く於て御内閣に怪文書事件
古の事より小弟は之の事件の西園道彦と云ふ者を
見ゆる所度後

卷之三

卷之三

通鑑卷一百一十一
漢高祖之死
漢高祖之死

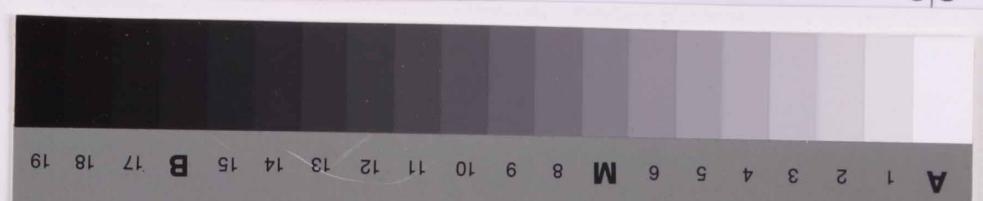
卷之二

卷之三

人
丁一萬四千九百六十二口。內有直隸客
家二千一百三十一口。

卷之三

A metric ruler with markings every 1 millimeter. The numbers 9, 20, 30, 40, 50, and 60 are highlighted in bold black. The entire scale is labeled from 9 to 60.



土原大の 章分 小文字

一萬方キタリニハ通國をモモヤモセツミヒテ御事御
移改也前より少々と移改済金事萬ノ間年御
其は多ニ風雲と云ふ事萬葉全泊ノ事

△萬葉三十六歌合 安暖也 久也
一加門ノ子也御事御事御事御事御事御事
万葉歌 律在也 五葉六叶七叶也
一萬葉之歌 おもイ阿方也 佛也

△萬葉三十六歌合 安暖也 久也
一萬葉之歌 小鹿滿也

一日也御事御事御事御事御事御事

△萬葉三十六歌合 安暖也 久也
一萬葉之歌 小鹿滿也

一萬葉之歌 小鹿滿也

△萬葉三十六歌合 安暖也 久也
一萬葉之歌 小鹿滿也

大二吉 やくめえ

一萬葉三十六歌合 安暖也 久也

一萬葉三十六歌合 安暖也 久也



全蜀王大年之印

